

PRAEVIDENTIA DAILY (10月13日) 特別号

昨日までの世界：対円以外でのドル高継続

先週金曜は、前日と同様に、米株安と米中長期債利回り低下の中で、ドルが対円で続落した一方、対その他主要通貨では上昇したのが特徴的だった。ドル/円は欧州時間までは108円割れの水準で方向感のない横ばいが続いた後、NY時間引けにかけて米中期債利回りの低下に下押しされて軟化して引けている。他方、豪ドル、NZドルやユーロの対米ドル相場での下落が続いた。

ユーロについては、足許ではユーロ圏経済の牽引役だったドイツの景気減速が鮮明であることから、直接的に売り圧力がかかっているほか、格付け機関 S&P がフィンランドのソブリン格付けをトリプル A からダブル B プラスへ引下げ、フランスの格付け見通しを安定的からネガティブへ引き下げたことも、悪材料になったとみられる。

他方、豪ドルや NZ ドルは、世界経済全般の減速懸念と株安が下押し要因となっている。この間、カナダ雇用統計は市場予想を大きく上回り、雇用者数が+7.4万人増、失業率は6.8%へ予想外の大幅低下となったが、カナダドルの上昇は一時的に留まり、対米ドルでは反落し、(対円以外での)米ドル高圧力の強さが窺える。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米2年金利差	米2年金利	日2年金利	米10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.2	-0.01	-0.01	+0.01	-0.03	-0.02	+0.01	-1.1	-1.2	+0.1	+0.2
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	-0.5	+0.02	+0.01	-0.01	+0.01	-0.01	-0.02	-1.6	-1.1	+0.2	+0.02
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	-0.3	-0.02	-0.03	-0.01	-0.02	-0.04	-0.02	-1.4	-1.1		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	-1.1	+0.00	-0.01	-0.01	+0.05	+0.03	-0.02	-1.1	-0.6	-0.3	
	変化率	NZ米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	-0.6	+0.02	+0.01	-0.01	+0.03	+0.01	-0.02	-1.1	-0.6	-0.3	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	+0.1	+0.00	-0.01	-0.01	-0.01	-0.02	-0.02	-1.1	+0.1	-0.3	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。(出所)トムソン・ロイター、プレイデントティア・ストラテジー

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米2年金利差	米2年金利	日2年金利	米10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-1.9	-0.12	-0.13	-0.01	-0.12	-0.14	-0.02	-3.1	-2.6	-4.3	-2.4
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	+0.9	+0.14	+0.01	-0.13	+0.10	-0.04	-0.14	-4.4	-3.1	-2.4	-0.01
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	+0.1	+0.04	-0.09	-0.13	+0.01	-0.14	-0.14	-2.7	-3.1	+1.1	-0.3
	変化率	NZ米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	+0.7	+0.11	-0.02	-0.13	+0.14	-0.00	-0.14	-2.7	-3.1	+1.1	-0.3
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.7	+0.03	-0.10	-0.13	-0.04	-0.19	-0.14	-2.9	-3.1		
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	世界株価	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	-0.4	-0.05	-0.13	-0.08	-0.06	-0.14	-0.08	-2.7	-3.1	-4.3	-0.3

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。(出所)トムソン・ロイター、プレイデントティア・ストラテジー

きょうの高慢な偏見：世界景気が米利上げを左右

きょうの注目通貨：USD/JPY ↓

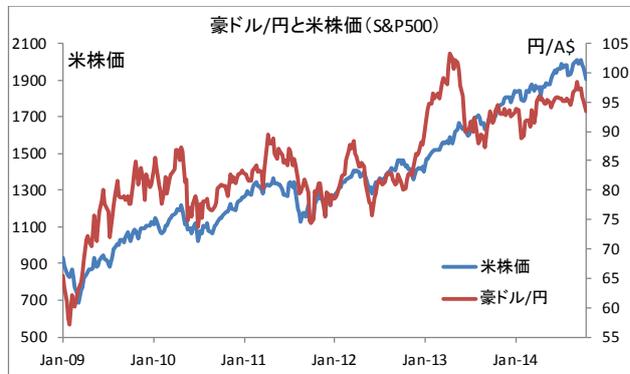
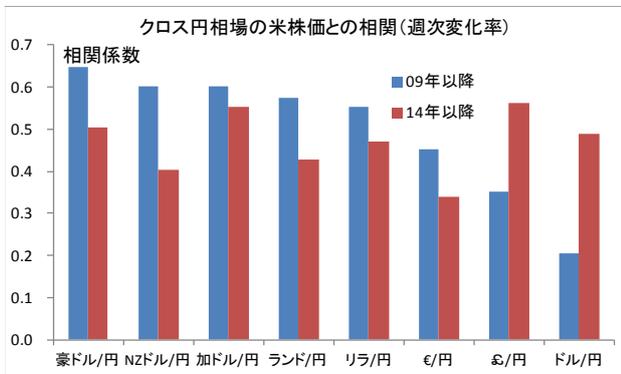
きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
<13日>日米休場				
中国 9 月輸出前年比	11 : 00	+9.4%	+11.8%	
同輸入		-2.4%	-2.4%	
Evans シカゴ連銀総裁発言	1 : 30			ハト派、来年は投票権あり

(出所) トムソン・ロイター等を基にプレビデンティア・ストラテジー作成

ドル/円は日米休場で材料は少ないが、米中長期債利回りの低下傾向や世界的な株価の調整色の強まりを受けて、下落圧力がかかっている。週末の Fed 高官発言をみると、Fischer・FRB 副議長が「利上げ時期・ペースの決定には海外経済見通しとその米国への影響に注意を払う」「海外経済が予想よりも弱ければ、よりゆっくりと緩和を取り除くことになる」と発言、Tarullo 理事も海外経済の下振れリスクへの懸念を表明した。9 月 FOMC 議事要旨の内容を再確認するものであったが、世界経済減速懸念が米利上げ開始を遅らせるリスクが意識され易く、特にドル/円の下押し圧力となりそうだ。

また、ドル/円の下落とユーロ、豪ドル、NZ ドルなどの下落が同時に起こると、ドル/円よりもユーロ/円、豪ドル/円、NZ ドル/円などのクロス円相場の方が下落が大きくなるため、注意が必要だ。因みに、米株価との連動性が最も高い主要クロス円相場は豪ドル/円と NZ ドル/円だ (09 年以降、下図を参照)。今年入り後でみるとドル/円やポンド/円も相関が高いが、長い目でみると方向性が違う時期もあり、米株価との関連では、長期、短期でみても安定して連動性が高い、豪ドル/円や NZ ドル/円に妙味がありそうだ。

先週 10 日にかけて行われた G20 財務相・中銀総裁会合でも、予想通り声明文は発表されなかったが、各国高官の発言では、Lew 米財務長官 (欠席予定だったが出席) が米ドル高が米国にとっていいことであるという主張は特に繰り返さず、むしろ主要国は競争的な通貨切り下げを回避すべきと発言、10 月中にも公表される米財務省の半期為替報告でも、こうしたトーンで他国の為替政策を指摘する可能性があり、他通貨への売り圧力 (=ドル高圧力) が後退しドル安圧力となるかもしれない。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。
 当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。
 当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
 金融商品取引業者 (投資助言・代理業) 関東財務局長 (金商) 第 2733 号
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641